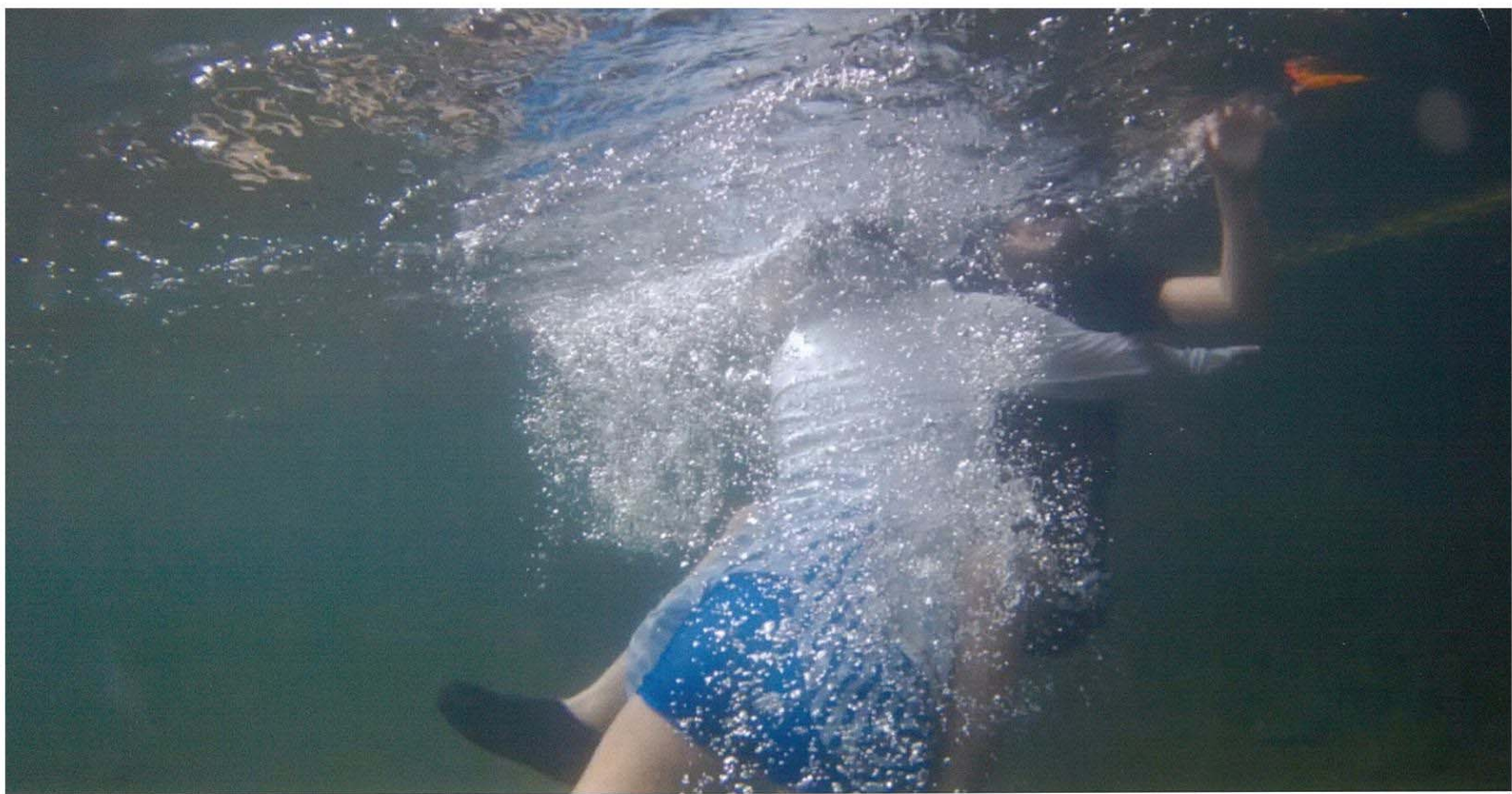




文部科学省選定作品

子どもの 水難事故

子どもの水辺のトラブルは
海よりも圧倒的に河川で多く発生しています



上映時間 12分

価格：55,000円（税抜 50,000円）
学校価格：27,500円（税抜 25,000円）

企画・制作 鹿児島文化企画

〒892-0816 鹿児島県鹿児島市山下町 7-15-202

TEL 099(805)1340 FAX 099(805)1341

制作意図

近所の河川での事故が最も多い子どもの水辺のトラブルは
どのようにして、なぜ起こるのか？
大人も子どもも知っておくべき注意点を解説します

作品の内容

深いところや速い流れに巻き込まれる

川遊びをした場合、年齢に関係なく、浅瀬に沿って川の中央へと
進んで行くことが多いです。
最初は浅瀬でも、川を進んでいくと急に深くなることもあります。
深みと流れにハマることで事故は起こります。



後追い沈水

複数の子どもが、同時に溺れてしまうケースがあります。
後追い沈水とは、1人目が川などで深みにはまった後、真後ろに
いる2人目、3人目が助けようとしたり、あるいは助けようとした
相手にしがみつかれて、溺れてしまう現象です。



事故が起こる一番多いタイミング『川に着いてすぐ』『帰り際』

水着に着替えたら、親が見ていない隙に、そのまま子どもだけで
川に入ろうとすることもあります。
事故が起きる時は、最初に子どもだけで川に入り、いきなり深みで
溺れるパターンが多いです。



川で子どもが流されたらどうする？

子どもが川で流されていたり溺れていたたりすれば、泳いで助けよ
うとしてしまうかもしれません。しかし、川へ入る際は大人でも
ライフジャケットが必要です。ライフジャケットなしで泳いで助け
ようすると、溺れてしまう危険があります。



発売元 南日本テレビ映画社

〒892-0815 鹿児島県鹿児島市易居町 2-12
TEL 099(226)5188 FAX 099(222)6540

お申込み・お問い合わせ



株式会社 教配

〒190-0012
東京都立川市曙町2-36-2 ファーレ立川センタースクエア
TEL 042-518-9774(代) FAX 042-518-9785